生活応援バンク
ろうきん

TOHOKU ROKIN DISCLOSURE 2023

東北労働金庫
半期ディスクロージャー誌

2023.4.1～2023.9.30

ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、
人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、
そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。
ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

コンプライアンス態勢の確立

当金庫では、コンプライアンス経営の実践を経営の基本姿勢として明確にするとともに、責任ある経営体制の整備・監視機能の強化等を通して法令等遵守態勢を確立し、役職員の法令等遵守意識の醸成を図っています。

金融円滑化の取組み

当金庫は、地域の中小企業ならびに住宅資金等の借入を個人でご利用いただいているお客さまの貸付条件の変更等のご相談などに迅速かつ適切に対応するため、基本方針や態勢整備を定め、役職員一同、全力を傾注して取組んでいます。

自然災害への取組み

復旧・復興にご尽力されている皆さまに対しまして、深く敬意を表します。
当金庫では、今後も被災地の皆さまに寄り添い、被災された方々や被災地域を支援する取組みを継続してまいります。

1. 東北管内における低金利の「災害救援ローン（無担保、不動産担保）」の取扱い

平成23年	東日本大震災
令和 4 年	7月14日からの大雨による災害
	8月3日からの大雨による災害
	山形県鶴岡市の土砂崩れによる災害
令和 5 年	7月7日からの大雨による災害（東北管内地域）
	台風第13号に伴う災害

2. 「東北ろうきん復興支援・社会貢献団体助成金制度」の取組み

2012年度より、東北6県に主たる事務所を有しているNPO団体やボランティア団体等で、東日本大震災からの復旧・復興、被災者支援について、顕著な功績をあげている団体や、当金庫が定める社会貢献活動に従事している団体への支援として助成金を提供しております。

スケジュール	
募集期間	2023年9月1日～10月31日
助成先選考	2023年12月上旬
助成金決定通知	2023年12月下旬
助成金交付	2024年1月

表示方法等について

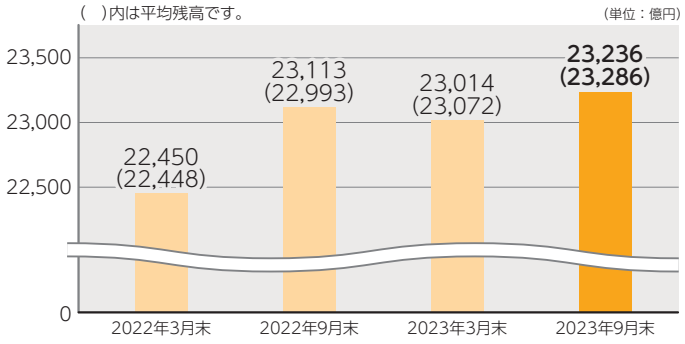
1. 半期決算は、法定されておりませんので、会計監査人監査の対象となっておりません。なお、特に「現在日」の指定があるものを除き、すべて2023年9月30日現在のものです。
2. 各表に表示した金額は、特段のことわりがない限り、単位未満の端数を切り捨てて記載しています。
3. 合計と内訳がある場合は、それぞれ切り捨てて記載していますので、合計と内訳の計が一致しない場合があります。
4. 比率は小数点第3位以下を切り捨てし、第2位まで記載しています。
5. 2021年度決算より、消費税の会計処理を従来の「税込方式」から「税抜方式」に変更しております。
6. その他
   [—]:該当数値がない場合、[0]:単位未満の数値がある場合、[△]:マイナス値の場合を表示しています。

当金庫の2023年度上半期(2023年4月1日から2023年9月30日)における経営内容や取組み内容についてお知らせいたします。
半期開示は法的に義務づけられたものではありませんが、直近の経営内容を広く会員および利用者の皆さまに知っていただけるよう、自主的に行うものです。

預金・貸出金の動向

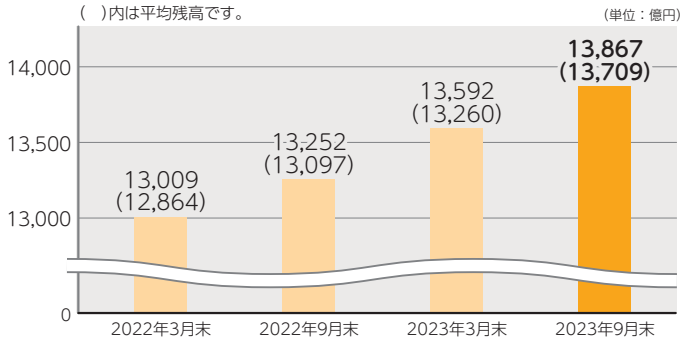
預金(譲渡性預金を含む)

預金残高は、上半期221億円増加し、2兆3,236億円となりました。
主として流動性預金209億円の増加等によるものです。
なお、個人預金は148億円の増加となりました。



貸出金

貸出金残高は、上半期275億円増加し、1兆3,867億円となりました。
主として有担保ローン197億円、無担保ローン13億円の増加等によるものです。
なお、個人貸出金は276億円の増加となりました。



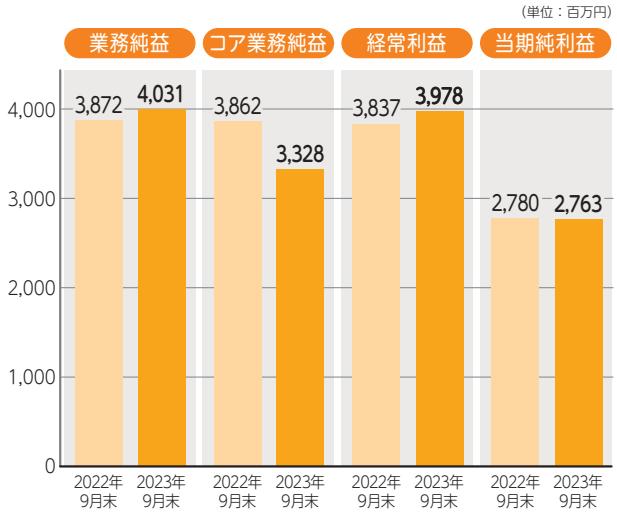
損益の状況

業務純益は、金融機関本来の業務活動(資金の運用・調達、サービスの提供等)により得られた利益で、当期は40億31百万円となり、前年同期比で1億59百万円の増益となりました。
これは、収益面では貸出金利息が99百万円、国債等債券売却益が3億16百万円増加し、費用面では預金利息が1億55百万円減少したこと等によります。

業務純益から一般貸倒引当金繰入額や債券による売却損益を除いたコア業務純益は33億28百万円となり、前年同期比で5億34百万円の減益となりました。
これは、収益面では日本銀行「地域金融強化のための特別当座預金制度」に係る特別付利および団体信用生命保険配当金等の減少、費用面では経費等の増加によります。

上半期の事業活動の成果を示す経常利益は39億78百万円となり、前年同期比で1億41百万円の増益となりました。

経常利益に特別に発生した利益および損失を加減した税引前当期純利益は38億65百万円となりました。税引前当期純利益から法人税等を控除した当期純利益は27億63百万円となり、前年同期比で16百万円の減益となりました。



自己資本比率(単体)

自己資本比率は、金融機関の経営の健全性を判断する指標の一つで、当金庫の2023年9月末の数値は、9.44%となりました。
国内基準である4%を上回る健全性を確保しています。

自己資本比率(国内基準)

(単位：百万円)

		2023年3月末	2023年9月末(概算値)
1.自己資本の構成に関する主な開示事項	コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	108,861	111,624
	コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	624	678
	自己資本の額 ((イ)−(ロ)) (ハ)	108,237	110,945
	リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	1,150,861	1,174,593
	自己資本比率(国内基準) (ハ)/(ニ)	9.40%	9.44%
2.定量的な開示事項	信用リスクに対する所要自己資本の額	44,387	45,337
	オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	1,646	1,646
	単体総所要自己資本額等	46,034	46,983

(注) 当金庫では、半期決算を法定されておりませんが、内部規程に基づき、3月末本決算に準じた仮決算を行っております。上記2023年9月末の自己資本比率は、この仮決算結果に基づいて算定した概算値です。
なお、定量的な開示事項の所要自己資本の額等はリスク・アセットに4%を乗じた額です。

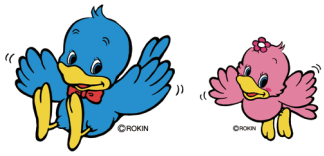
資産内容の開示

労働金庫法及び金融機能の再生のための緊急措置に関する法律ベースの債権区分による開示

(単位：百万円)　(参考)　(単位：百万円)

		2023年3月末	2023年9月末	2022年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		4,565	5,067	4,369
危険債権		7,169	7,499	7,265
要管理債権		126	121	83
	三月以上延滞債権	126	121	83
	貸出条件緩和債権	–	–	–
小　計		11,860	12,687	11,717
正常債権		1,348,504	1,375,295	1,314,581
合　計		1,360,365	1,387,982	1,326,298

(注)　金額については、単位未満を四捨五入して表示しています。



有価証券の時価情報

売買目的有価証券

(単位：百万円)

	2023年3月末		2023年9月末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価差額	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価差額
売買目的有価証券	–	–	–	–

満期保有目的の債券

(単位：百万円)

	種　類	2023年3月末			2023年9月末		
		貸借対照表計上額	時　価	差　額	貸借対照表計上額	時　価	差　額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国　債	–	–	–	–	–	–
	地方債	–	–	–	–	–	–
	短期社債	–	–	–	–	–	–
	社　債	–	–	–	–	–	–
	その他	–	–	–	–	–	–
	小　計	–	–	–	–	–	–
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国　債	–	–	–	–	–	–
	地方債	–	–	–	–	–	–
	短期社債	–	–	–	–	–	–
	社　債	–	–	–	–	–	–
	その他	–	–	–	–	–	–
	小　計	–	–	–	–	–	–
合　計		–	–	–	–	–	–

(注)　1. 時価は、2023年9月末における市場価格等に基づいています。　2. 社債には、政府保証債、公社公団債、金融債、事業債が含まれます。　3. 市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

子会社・子法人等株式及び関連法人等株式

当金庫で保有する子会社・子法人等株式及び関連法人等株式については、市場価格のない株式等であるため、下記「市場価格のない株式等及び組合出資金の主な内容及び貸借対照表計上額」に記載しております。

その他有価証券

(単位：百万円)

	種　類	2023年3月末			2023年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差　額	貸借対照表計上額	取得原価	差　額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株　式	–	–	–	–	–	–
	債　券	261,289	248,444	12,844	215,827	209,657	6,169
	国　債	259,688	246,844	12,843	215,427	209,257	6,169
	地方債	1,000	1,000	0	–	–	–
	短期社債	–	–	–	–	–	–
	社　債	600	600	0	400	400	0
	その他	24,067	18,587	5,480	20,874	15,515	5,358
	小　計	285,356	267,031	18,324	236,701	225,172	11,528
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株　式	–	–	–	–	–	–
	債　券	9,670	9,825	△ 154	25,353	25,775	△ 421
	国　債	4,907	5,025	△ 117	16,955	17,275	△ 320
	地方債	996	1,000	△ 3	1,978	2,000	△ 21
	短期社債	–	–	–	–	–	–
	社　債	3,766	3,799	△ 33	6,419	6,499	△ 80
	その他	–	–	–	991	1,033	△ 42
	小　計	9,670	9,825	△ 154	26,344	26,809	△ 464
合　計		295,027	276,856	18,170	263,046	251,982	11,064

(注)　1. 貸借対照表計上額は、2023年9月末における市場価格等に基づく時価により計上したものです。　2. 社債には、政府保証債、公社公団債、金融債、事業債が含まれます。
3. 市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

市場価格のない株式等及び組合出資金の主な内容及び貸借対照表計上額

(単位：百万円)

項　目	2023年3月末	2023年9月末
子会社・子法人等株式	315	315
関連法人等株式	–	–
非上場株式	13	13
合　計	328	328

(注)　貸借対照表の「その他資産」科目に「労働金庫連合会出資金」10,600,000,000円を計上しております。

上半期トピックス

東北ろうきん20周年記念事業に関わる取組み

「東北ろうきん20周年キャンペーン」「ろうきんアプリ&スマホ決済キャンペーン」の実施

2023年10月で20周年を迎えたことを記念し、これまでの感謝とともにこれからも会員・地域の皆さまに寄り添っていく思いを込めて、4月～12月にかけて2つのキャンペーンを実施しています。両キャンペーンの推進を通じて、勤労者の皆さまの生活支援に少しでもお役に立てるよう取組みを進めてまいります。

東北ろうきん20周年記念事業「大学生ボランティア活動向け助成金制度【未来へのタスキ】」による助成の実施

20周年記念事業として「社会的な課題に取組む大学生の活動を支援する」ことを目的に、制度を新設しました。39団体より応募いただき厳正なる選考の結果、22団体へ総額2,065,000円を助成させていただきました。9月に各県本部において贈呈式を行っています。

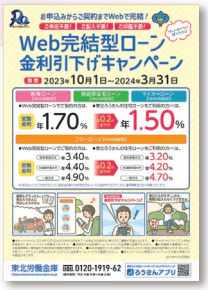
今後は、助成先学生団体の取組みに寄り添いながら連携を図り、大学生ボランティア活動の活性化とともに、地域社会の課題解決や持続可能な社会の実現に寄与できるよう取組んでまいります。

〈宮城県本部会場〉

20周年特設サイトはこちらよりご覧ください ▶ https://www.tohoku-rokin.or.jp/20th/

Web完結型ローン金利引下げキャンペーンの実施

書類の記入やご来店が不要な「Web完結型ローン」の利便性を多くのお客さまへ実感いただけるよう、「Web完結型ローン金利引下げキャンペーン」を実施しています。Web完結型ローンは、お客さまにとって利便性が高いだけでなく、ペーパーレスにより環境に配慮した取組みの一環として、これからも多くの皆さまにご利用いただけるよう推進してまいります。なお、本キャンペーンは2024年3月末まで実施しております。



「アセットプランナー」の活動開始

資産形成・資産運用ニーズの高まりを受けて、これまでのプライベートセンター(2023年2月末営業終了)に代わり、2023年度より資産形成支援を専門的に担う「アセットプランナー」を23店舗(青森3店舗、岩手4店舗、宮城4店舗、秋田3店舗、山形4店舗、福島5店舗)に29名配置し、活動を開始しました。個人のお客さまへの提案・相談はもとより、周辺の営業店とともに会員の皆さまへ向けたセミナー等を積極的に開催し、金融リテラシー向上にむけた取組みを実施しております。

ローンセンターの新設

2023年4月3日に、7ローンセンター(釜石、新塩釜、古川、大館、大曲、村山、白河)を新たに設置しました。これにより東北全域で24ローンセンター体制となり、これまで以上に地域のお客さまのニーズに対応できるよう取組んでおります。

「リモート相談サービス」の拡大

2023年5月8日に「リモート相談(離れた店舗間での遠隔相談)サービス」によるリバースモーゲージローンの受付を開始しました。また、2023年8月1日より受付対象商品を無担保ローン、マイプラン、教育ローンカード型に拡大しました。

人口減少が進む東北において地域差のない均質なサービスをご提供できるよう、今後も取組みを進めてまいります。

老朽化に伴う「宮古支店」「むつ支店」の新店舗移転

2023年6月5日に宮古支店、2023年10月23日にむつ支店が新店舗へ移転しております。

宮古支店

むつ支店

SDGs（持続可能な開発目標）と東北ろうきんの取組み

ろうきん業態ではSDGsの実現に向けた取組みを展開するにあたり、2019年3月に「ろうきんSDGs行動指針」を策定しました。SDGsのスローガンである「誰一人取り残さない」や、全ての人々が必要な金融サービスにアクセスでき利用できる状況をめざす「金融包摂」の考え方は、〈ろうきん〉の設立経過や理念、ビジョンと合致するものです。

当金庫においてもこの指針に則り、労金運動を通じた勤労者の生活向上という、〈ろうきん〉の使命を追求することを通じて、今後も〈ろうきん〉に期待される協同組織金融機関としての役割を発揮し、SDGs達成に取組んでいきます。

〈ろうきん〉は、良質な金融商品・サービスの継続的な提供を通じて、すべての勤労者やその家族が生涯にわたり安全・安心・豊かに暮らせる社会づくりを進めます。

〈ろうきん〉は、環境や社会への配慮や企業統治が優れた企業への投資、それらに取組む団体との連携等を通じて、持続可能な社会づくりに取組みます。

〈ろうきん〉は、誰もが平等に質の高い教育を受ける機会が保障されるとともに、すべての勤労者が自らの能力を高めるために生涯学び続けられる環境づくりに取組みます。教育に係る様々な資金ニーズに応えるとともに、金融経済教育を推進します。

〈ろうきん〉は、誰もが年齢・性別・障害・経済的地位などの違いによって、差別や排除を受けたり社会的孤立に陥ったりすることなく、健康で安心して働き暮らせる社会の実現をめざします。
社会的・経済的に困難な状況に置かれた人々の金融アクセスの改善を通じて、就労・社会参加や経済的自立の支援に取組みます。

〈ろうきん〉は、労働組合や協同組織・NPO・社会福祉法人・社団・財団・自治体などと連携し、各団体とのネットワークを活用した社会的課題の解決の取組みなどを通じて、差別や争いのない平和で誰もが安心して生活できる共生社会の実現をめざします。

2023年版半期ディスクロージャー誌
発行／東北労働金庫総合企画部 2023年11月

〒980-8661 仙台市青葉区北目町1-15
TEL 022-227-1356　FAX 022-215-3158
https：//www.tohoku-rokin.or.jp/

生活応援バンク ろうきん

東北ろうきん20th